

令和 3 年度橿原市環境審議会

橿原市環境総合計画

(P.56~76)

令和 2 年度
行政施策進捗状況
調査結果

望ましい環境像

豊かで美しい自然環境と歴史的景観が織りなす魅力あふれる“かしはら”

～未来に向けて絆で創る「環境にやさしいまち」をめざして～

基本目標

1 環境について学び、保全活動を実践し、豊かな心を育む

2 豊かな歴史文化と自然環境を守り育てるまち

3 健康で快適に、安全で安心して暮らせる やさしいまち

4 循環の仕組みを備えた“もったいない”の心にあふれた

5 低炭素社会の実現に向けた行動を実践するまち

基本施策

1-1 環境保全活動の連携

1-2 環境学習・環境教育の推進

1-3 環境情報の提供

2-1 生物多様性の確保

2-2 里地里山の保全・保護

2-3 歴史的景観の保全・活用

2-4 歴史的な文化財の保護・活用

3-1 環境汚染対策

3-2 身近な生活環境の保全

3-3 身近な緑の保全と創出

3-4 良好な水辺の形成

3-5 良好なまちなみの形成

3-6 快適な移動空間の形成

4-1 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の

4-2 廃棄物の発生抑制

4-3 再資源化の促進

4-4 廃棄物の適正処理

4-5 エネルギー資源循環

5-1 産業・事業所における低炭素化の推

5-2 市民生活における低炭素化の推進

5-3 低炭素な建物・まちづくりの推進

5-4 低炭素な交通施策の推進

5-5 再生可能エネルギーの利活用

5-6 市役所における取組の率先垂範

5-7 その他の地球温暖化対策の推進

82 主要施策の実行 ・ 市民協働プロジェクトの実行

環境指標	現況値	実績値	目標値		備 考
	(平成23年度)	(令和2年度)			
【1】環境について学び、保全活動を実践し、豊かな心を育むまち					
観察会や観察教室、イベント、出前講座等の開催回数（昆虫館）	53回	15 回	55回	昆虫館	
温暖化対策啓発事業・市民講座の回数	14回	9 回	25回	環境衛生課	
昆虫館の利用者数	72,534人	49,608 人	75,000人	昆虫館	
有料生涯学習施設（科学館、昆虫館）入館者数	113,896人	50,767 人	115,000人	文化振興課 昆虫館	
生涯学習セミナーの参加率	47%	－ %	60%	社会教育課	未実施
【2】豊かな歴史文化と自然環境を守り育てるまち					
生物多様性の調査回数	6回	9 回	10回	昆虫館	
特別史跡藤原宮跡の国有化	47.7ha	56 ha	54.9ha	世界遺産登録 推進課	
史跡丸山古墳の公有化	61,050㎡	68,892 ㎡	73,946㎡	文化財課	
耕作放棄地面積の比率	4%	2.3 %	3%	農政課	
今井町重要伝統的建造物群保存地区内修理・修景件数	271件	382 件	300件	今井町並保存整備 事務所	
今井まちなみ交流センター入館者数	38,042人	11,807 人	40,000人	今井町並保存整備 事務所	
今井町重要伝統的建造物群保存地区内街なみ環境整備事業進捗率	81%	87 %	97%	今井町並保存整備 事務所	（実施済事業費÷計画全体事業費）
【3】健康で快適に、安全で安心して暮らせるやさしいまち					
大和川のBOD値の恒久的な環境基準（5mg/L以下）の達成	3mg/L	2.1 mg/L	5mg/L以下	環境衛生課 環境保全課	
下水道処理人口普及率	69%	79.4 %	75%	下水道課	
公共下水道（雨水）計画区域整備率	45.8%	86.6 %	86.5%	道路河川課	
地域住民と維持管理協定を締結した公園数	162ヶ所	188 ヶ所	180ヶ所	緑地景観課	
市民1人あたりの都市公園等の面積	7㎡/人	9.5 ㎡/人	9㎡/人	緑地景観課	
景観が守られていると感じる市民の割合	38%	未確定 %	50%	緑地景観課	
コミュニティバスの利用者数	28,096人	24,318 人	30,000人	都市計画課	
道路改良率	66%	75.9 %	70%	道路河川課	
街路（今井地区）整備率	49%	100.00 %	100%	道路河川課	都市計画道路今井・五井線および畝傍駅前通り線の整備率（完成延長÷事業認可延長）
【4】循環の仕組みを備えた“もったいない”の心にあふれたまち					
一般家庭系ごみ収集量（生ごみ、粗大・不燃ごみ）	26,925 t	25,493 t	24,762 t	環境企画課 環境保全課	
資源物集団回収量	2,679 t	1,472 t	2,648 t	環境衛生課	
橿原市の一般廃棄物処理に係る資源化率	12.4% (2017年度)	12.04 %	15%以上 (2028年度)	環境保全課	
リサイクル館かしはら入館者数	8,689人	4,626 人	9,800人	環境保全課	
【5】低炭素社会の実現に向けた行動を実践するまち					
市域の温室効果ガス排出量	703千t-CO ₂ (2013年度)	542 千t-CO ₂	520千t-CO ₂ (2030年度)	環境衛生課	2030（令和12）年度までに、2013（平成25）年度比で26%の削減
市役所業務のうち事務系に係る温室効果ガス排出量	8,640t-CO ₂ (2013年度)	7,443 t-CO ₂	5,184t-CO ₂ 以下 (2030年度)	環境衛生課	2030（令和12）年度までに、2013（平成25）年度比で40%以上の削減
市役所業務のうち事業系に係る温室効果ガス排出量	20,285t-CO ₂ (2013年度)	17,571 t-CO ₂	15,822t-CO ₂ 以下 (2030年度)	環境衛生課 環境企画課	2030（令和12）年度までに、2013（平成25）年度比で22%以上の削減
廃棄物発電（売電）による社会に対する温室効果ガス削減効果	6,173t-CO ₂ (2013年度)	8,123 t-CO ₂		環境企画課	

評価方法：担当課が事業の達成度をA～Dの中から選択した。

（「策定時実施」と「前期・後期」で達成度の内容が異なっている。）

「策定時実施」

（平成25年3月の橿原市環境総合計画策定時から実施していく予定となっていたもの）

評価	事業の達成度
A	取組が実行されており、その結果は十分満足できる状況にある。
B	取組が実行されており、その結果は満足できる状況にある。
C	取組が実行されているが、その結果はまだ十分とは言えない。
D	取組がほとんど実行されていない。

「前期・後期」

（前期：計画年度前期5年を目処に実施を目指すもの、後期：計画年度内に実施を目指すもの）

評価	事業の達成度
A	取組は実行されており、事業を進めている。
B	取組は実行されていないが、方向性が定まり、全体構想がまとまっている。
C	取組は実行されていないが、検討をおこなっている。
D	取組は実行されておらず、検討段階にもなっていない。